

新婦人の「戦争する国づくり」反対プラカードが話題に

メーデー集会では、上越市平和委員会、上越民主商工会、えちご上越農協労組、年金者組合、にいがた青年ユニオンなどの代表が、次々と決意表明をしました。

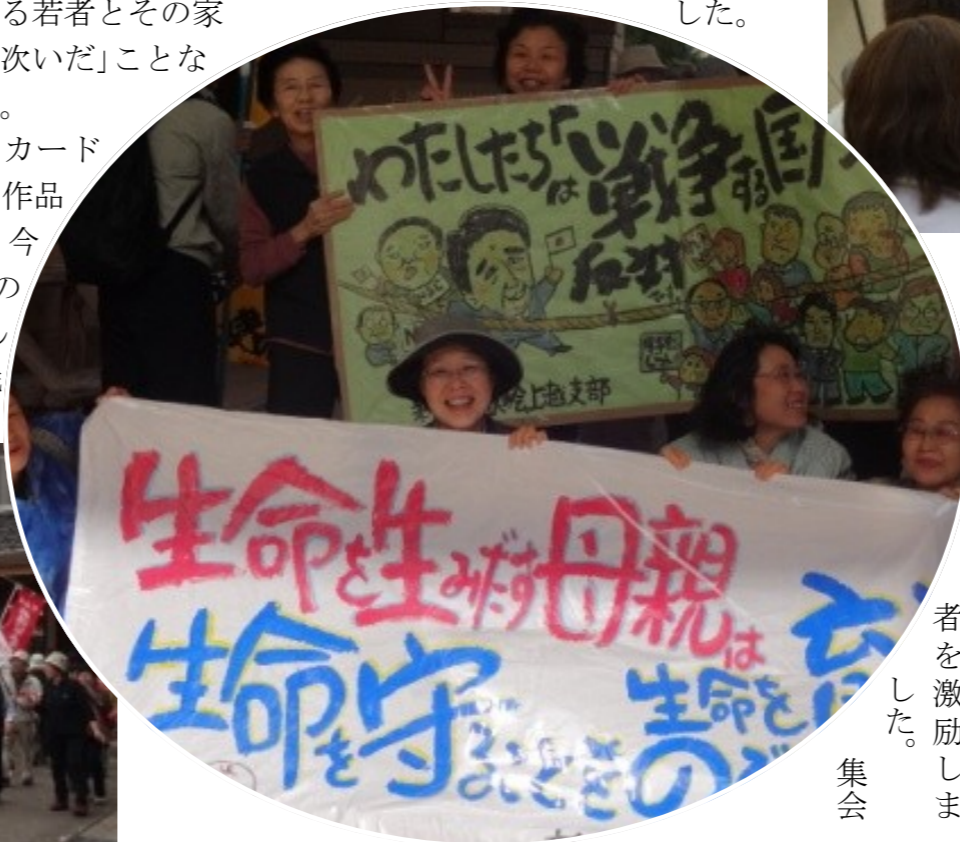
この中では、安倍政権の消費税増税などの暮らし・経済の破壊や解釈改憲の強行姿勢に大きな怒りが広がっていることが明らかにされました。年金者組合の代表は、「年金受給者の多くは月5万円の年金しかなく生活が大変なのに、さらに額が引き下げられようとしている。許せない」と訴えました。

また、労働者の厳しい実態も告発さ

れました。にいがた青年ユニオン上越支部の代表は、「県本部には、今年2月と3月だけでメールを中心に51件の労働生活相談があった。アルバイトで1日10時間働かされている人や、深夜2時まで働かされている若者とその家族などからの相談が相次いだ」ことなどを明らかにしました。

集会では、毎年プラカード審査が行われ、優秀な作品には賞が贈られます。今回一番話題となったのは、新婦人のみなさんの「わたしたちは『戦

争する国づくり』に反対です」というプラカードです。力作でした。解釈改憲の先頭に立つ、安倍首相と石破幹事長の似顔絵はそっくりでした。橋爪団長や平良木議員などの似顔絵もありました。



第85回メーデー上越集会

3市議そろって参加、激励

第85回メーデー上越地区集会は、1日午後、雁木通りプラザで行われ、地区内の労働者、市民など約1000人が集い、氣勢をあげました。集会後は、本町通り、上越大通りなどをパレードし、「最低賃金をあげろ」「憲法改悪反対」「消費税増税はやめろ」などと訴えました。

集会、パレードには、日本共産党議員団の3市議がそろって参加し、参加者を激励しました。

では、実行委員会を代表して、布施上越地区労連議長が挨拶し、安倍政権の労働者派遣法など労働法制の改悪で、労働者がいっそう劣悪な労働環境に追いやられることを解明しました。また、秘密保護法の施行、憲法の解釈改憲で、「戦争のできる国」づくりをすすめていることを糾弾しました。

続いて、上越市の秀沢産業観光部長が、市長のメッセージを代読しました。また、日本共産党を代表して、橋爪議員団長が連帯とお祝いの挨拶したほか、労働金庫、総合生協の代表も挨拶しました。

橋爪団長は、「安倍政権の暴走はひどい。消費税の増税、医療・社会保障制度の改悪、労働法制の改悪、TPP（環太平洋経済連携協定）参加、原発再稼働推進など、悪政を次々とすすめる政権はこれまで見たことがない。メーデーを、安倍政権の暴走にストップをかける総決起の場にしよう。そのためには、労働者、国民が、暮らしを守るために、思想信条の違いを越えて頑張ること、県や市が国の悪政からの防波堤の役割を果たすことが大事だ。その役割を果たすことが、来春の県議選で頑張る。ご支援をお願いしたい」と訴えました。



右上の写真は挨拶する橋爪団長。中央の写真は、手作りの大きなプラカードを持つ新婦人のみなさん。左下の写真は、高田駅前をパレードする参加者です。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 409 2014年5月11日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)